

## 志賀原子力発電所 2号機 燃料取出作業中における 燃料上部での布の発見について

平成21年8月18日  
北陸電力株式会社

志賀原子力発電所 2号機（第2回定期検査を実施中）において、原子炉から使用済燃料貯蔵プール（以下、「プール」という。）へ燃料取出作業を行っていたところ、昨日22時23分頃、プールへ移動した燃料の上部に白い布（約20センチ×約30センチ）を発見しました。

このため、布の回収作業を実施し、本日4時50分に回収を終了しました。併せて、原子炉内の燃料上部及びプール内に同様の布がないことを確認しました。更に、原子炉内については、今後実施する燃料漏えいに係わる原子炉内清掃時に併せて確認してまいります。

本事象によるプールの冷却機能への影響はありません。  
また、外部への放射能の影響もありません。

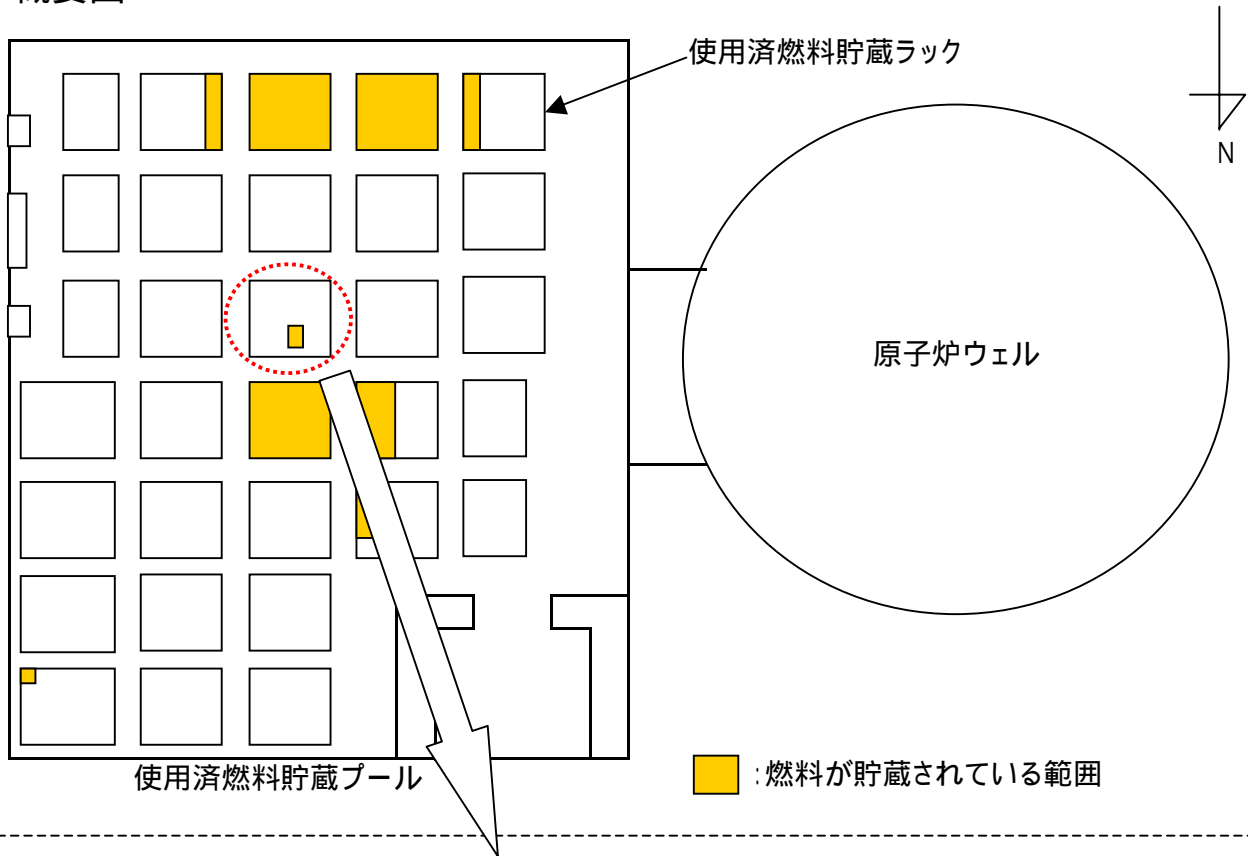
原因は、作業に布を使用した際、誤って原子炉内又はプール内に落下させたものと推定されます。今後、異物混入防止対策を一層徹底してまいります。

本件は、法令及び安全協定には該当しませんが、石川県および志賀町と締結している連絡基準に係る覚書に基づき、本日、当該自治体に連絡しました。

以 上

添付資料：燃料上部の布発見箇所

< 概要図 >



< 拡大図 >

